

事務事業名 スポーツ推進委員運営事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：713

施策：	22	スポーツ・レクリエーションの推進	財務コード	01090701-02-00
基本事業：	03	指導者・ボランティアの養成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	養成講座により養成された指導者・ボランティア数 スポーツ・レクリエーション指導者数（有資格者） スポーツ・レクリエーション指導者の充足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ振興担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市スポーツ推進委員			スポーツ推進委員は、次の業務を行う。 ・スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整 ・市民に対するスポーツの実技指導 ・スポーツに関する指導及び助言 スポーツ推進委員の各研修及び派遣業務 ・筑紫野市スポーツ推進委員研修会 ・筑紫地区スポーツ推進委員研修会 ・中部地区スポーツ推進委員研修会 ・福岡県スポーツ推進委員研修会 ・各種スポーツ大会運営補助 ・各校区市民体育祭、スポーツイベント運営 ・小学校体力テスト派遣						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
生涯スポーツを通じて、地域と行政、人と人をつなぐコーディネーターとして、地域において活動を行う									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標
スポーツ推進委員に係る研修会等への延べ参加者数		人	131	155	500	500			450
5. コスト									
事業費		計	千円	1,224	1,673	3,779	4,074		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	1,224	1,673	3,779	4,074				
正職員人工数		人工	0.4	0.4	0.4	0.4			
正職員人件費		千円	3,212	3,168	3,091				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	4,436	4,841	6,870	4,074			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		自主的な研修会や事業の実施、県等が開催する研修会への参加、各校区スポーツ(体育)振興会と連携して地域スポーツのコーディネーターとして活動している。また、小学校が実施している体力テストの補助員や他課が実施するイベント等への参画等、活動の幅が広がっている。 コロナ禍で多くのスポーツイベントが中止となった							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
昭和37年 市体育指導委員 設置 昭和50年 市体育指導委員に関する規則制定 平成23年 市スポーツ推進委員に名称変更 筑紫野市スポーツ推進委員に関する規則（昭和50年教委規則第11号）に基づき、地域スポーツの推進に寄与する事業を実施し				備考・特記事項 or 進行管理欄 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県等が開催する研修会やスポーツイベント等への参加が減となった。					